



俳句

首すじのそぞろになりて行く秋ぞ

うたた猫

晩夏光旧友の訃報の上にある

森 俊也

川柳

夕方は影法師さえ人を恋う

森 廣子

こたつ守り妻の遺影に温風機

難波 敏克

湯上りの抜毛一本挿みおり

松尾 義明



短歌

艶やかに薄墨散らす色に似た

井上 恵子

衣手染めし夕空に見る

庭に咲く友禅菊の花ことば

谷 たか子

老いても元氣」を飾る玄関



大坂のいづき 121 号投稿